

## 第2節 学校教育課

### 〔総括概要〕

栃木市総合計画「基本方針・V」に基づき、人生の礎となる「生きる力」を身に付けた子どもたちをしっかりと育てることができるよう、各種事務事業を実施し、未来を担う栃木市の子どもが「自分のよさをのびのびと発揮し、自らの意志で自らの人生をいきいきと切り拓く力」（生きる力）を育むことを目指した。

まず、学力向上については、教員の授業力の向上に向けたリーフレット「とち介の学び」をもとに、訪問の要請を受けた小中学校に対して指導助言を行った。3学期には、市内全42小中学校に対して、指導主事による学力向上に係る学校訪問を実施し、校長と学習指導主任から各校の成果と課題を確認した。また、放課後教室については、本年度も市内小学校で開催し、基礎基本の定着と学習意欲の向上を図った。更に、学力向上推進研究校として都賀ブロックの小中学校を指定し、3か年研究の最終年度として、教員の指導力の向上と全ての子どもたちに対する学びやすさを目指した指導、支援の方法について研究を進め、3年間の研究のまとめとして、公開研究発表会を実施した。

GIGAスクール構想により、令和3年度に児童生徒一人につき一台のタブレット端末が市内全校に配置され、本年度においても、各校において、授業での端末の活用が一層進んだ。また、端末の家庭への持ち帰りにより、新型コロナウイルス感染症による臨時休校等でのオンライン学習の活用も進んだ。

小中一貫教育については、「栃木市小中一貫教育ガイドライン」をもとに、市内13の中学校ブロックで、小中合同研修会や推進委員会を開催し、地域ぐるみでの小中一貫教育を推進した。

人権教育については、令和4・5年度の2か年、寺尾ブロックを人権教育実践研究校に指定し、「多様性を認め合い、生き生きと自己表現する児童生徒の育成」を目指した研究を推進した。

グローバル教育については、小学校では、1つの学校に複数の外国語指導助手(ALT)が一日訪問し、全児童が英語によるコミュニケーション活動を体験する「グローバルデー」を4校で実施、中学校では、市内の全生徒がALTと1対1でコミュニケーションを体験する「コミュニケーションチャレンジ(スピーキングテスト)」を実施し、目指す子ども像「多様性を受容し、主体的に思いや考えを伝え合う子ども～ふるさと栃木から世界へ！～」の具現化に向けた研究を推進した。

いじめ対策の取組としては、いじめ問題に対する児童生徒の主体的な行動を推進することを目的とし「“あったか栃木”いじめ防止子どもフォーラム」をオンラインで開催した。

### 学務係

#### 1 学務に関する事業

(1) 児童生徒の就学に関する事務

小中学校児童生徒就学状況

(単位：人)

区 分	小 学 校		中 学 校	
	児童数	学級数	生徒数	学級数
令和3年5月1日	7,281	346	3,813	160
令和4年5月1日	7,150	336	3,823	156
比 較	-131	-10	10	-4

(2) 小中学校教育環境整備事業（理科教育設備整備等事業）

理科教育設備整備費等補助金により、小学校16校、中学校6校の理科及び算数・数学教育に関する設備の整備を行った。

	整備額（円）
小学校	832,276
中学校	334,220
合 計	1,166,496

(3) 教科書無償給与事務

小中学校児童・生徒教科書給与事務（単位：冊）

区 分		冊 数
小 学 校	前期用	64,494
	前期転学用	242
	後期用	12,901
	後期転学用	263
中 学 校	前期用	36,739
	前期転学用	98
	後期用	-
	後期転学用	72
合 計		114,809

(4) 教師用教科書及び指導書等購入貸与事務

小中学校の教師用教科書及び指導書等を購入し貸与した。

区 分	冊数（冊）	費用（円）
教師用教科書 前後期用	734	446,903
教師用指導書等（デジタル教材含む） 前後期用	452	20,226,744
合 計	1,186	20,673,647

(5) 臨海自然教室実施事業

とちぎ海浜自然の家での集団宿泊生活を通じて学校教育活動を行う、臨海自然教室を実施する事業である。令和4年度は市内25校で実施した。

（1校は別事業を実施、3校は隔年実施のため本年度未実施）

(6) 特色ある学校づくり奨励補助金事業

学校独自の「特色ある学校づくり」を推進することを目的として、学校が実施する特色ある教育活動に要する経費に対し、補助金を交付した。

- ・市内39の小中学校で実施、交付金額1,900,000円

## 教職員係

### 1 教職員に関する事業

#### (1) 教職員の人事事務(県費負担職員)

年度末における完退者及び定期異動に伴う転退者、転採者、転勤者あるいは新採者について、それに関する書類作成、辞令交付式の開催、また、年度途中における産育休者、傷休者等についてその休暇承認や補充者採用の内申等を行った。

(のべ人数 単位：人)

完退者	転退者	転勤者	転採者	新採者
42	53	166	55	34
傷休者	休職者	介休者	産休者	育休者
16	6	1	21	51

#### (2) 教職員の服務・管理に関する事務(県費負担職員)

- ・年度末教職員人事異動に伴う学校管理事務説明会
- ・人事異動に伴う事務
- ・学級編制に関する事務
- ・学校事故に関する事務
- ・各種選考試験に関する事務
- ・教職員評価制度に関する事務
- ・表彰に関する事務
- ・公務災害に関する事務
- ・教員免許制度に関する事務
- ・教職員の履歴に関する事務

#### (3) 教職員の給与内申発令関係事務

教職員の昇給の時期は、4月1日であり、その約1か月前に届いた定期昇給昇格内申書の内容について昇給予定者の記載漏れはないか、昇給延伸該当者で昇給として記載されている者はないか等の点検を行った後、県教育委員会に内申を行った。

#### (4) 教職員団体に関する事務

地方公務員法及び職員団体の登録に関する条例・規則に基づいた教職員団体に関する事務を行った。

## 指導係

### 1 指導に関する事業

#### (1) 学校訪問指導

学校運営、学習指導、生徒指導、人権教育等に関して指導した。

ア 共同訪問

大宮南小、寺尾小、大平西小、藤岡小、小野寺小、栃木西中、大平南中

イ 研究学校

(7) 市指定人権教育実践研究校

・寺尾小、寺尾中

(4) 市指定学力向上推進研究校

・合戦場小、家中小、赤津小、都賀中

(7) 市指定放課後教室研究校

・市内全小学校

ウ 学校訪問実施状況

No	学校名	教科等	期日		備考
1	栃木中央小	算数(2授業)	6月29日	水	
2	栃木中央小	国語(2授業)	11月16日	水	
3	栃木第三小	社会・算数	7月6日	水	
4	栃木第三小	国語・音楽	10月26日	水	
5	栃木第四小	算数	9月28日	水	
6	栃木第四小	算数	11月30日	水	
7	栃木第五小	国語・算数	11月16日	水	
8	南小	講話	8月2日	火	主体的・対話的で深い学びについて
9	南小	国語	10月26日	水	
10	大宮南小	教科等(2授業)	10月27日	木	共同訪問
11	大宮北小	国語(2授業)	9月28日	水	
12	皆川城東小	講話	7月29日	金	小中一貫教育について
13	皆川城東小	指導案検討	8月26日	金	
14	皆川城東小	理科	9月14日	水	
15	吹上小	算数	10月26日	水	
16	千塚小	算数	11月21日	月	
17	寺尾小	教科等(2授業)	10月4日	火	共同訪問
18	国府南小	国語	6月29日	水	
19	国府南小	理科	11月21日	月	
20	国府北小	国語(2授業)	6月30日	木	
21	国府北小	国語(2授業)	11月22日	火	
22	大平東小	講話	5月18日	水	総合的な学習の時間について
23	大平東小	総合	11月22日	火	
24	大平南小	社会	6月24日	金	
25	大平南小	社会(2授業)	10月18日	火	
26	大平西小	教科等(4授業)	6月21日	火	共同訪問

27	大平西小	算数	9月14日	水	
28	大平中央小	算数	6月22日	水	
29	大平中央小	国語・算数	12月2日	金	
30	藤岡小	教科等(3授業)	5月27日	金	共同訪問
31	藤岡小	算数(2授業)	11月2日	水	
32	部屋小	講話	6月1日	水	対話的な学びについて
33	部屋小	社会	9月27日	火	
34	赤麻小	講話	8月3日	水	ICT活用について
35	赤麻小	社会	10月12日	水	
36	三鴨小	国語	6月13日	月	
37	三鴨小	国語	10月5日	水	
38	合戦場小	算数	6月29日	水	学力向上推進研究校
39	合戦場小	算数(2授業)	11月14日	月	学力向上推進研究公開授業
40	家中小	算数	6月22日	水	学力向上推進研究校
41	家中小	算数	11月14日	月	学力向上推進研究公開授業
42	赤津小	国語	6月15日	水	学力向上推進研究校
43	赤津小	国語	11月29日	火	学力向上推進研究公開授業
44	西方小	国語	6月22日	水	
45	西方小	国語	10月12日	水	
46	真名子小	算数	9月28日	水	
47	真名子小	国語	11月9日	水	
48	岩舟小	算数	9月21日	水	
49	岩舟小	国語	11月16日	水	
50	小野寺小	国語	6月22日	水	
51	小野寺小	教科等(2授業)	9月28日	水	共同訪問
52	小野寺小	国語	11月24日	木	
53	栃木東中	理科	7月6日	水	
54	栃木東中	道徳	11月9日	水	
55	栃木東中	音楽	2月15日	水	
56	栃木西中	教科等(4授業)	9月21日	水	共同訪問
57	栃木南中	数学	12月14日	水	
58	東陽中	理科	6月28日	火	
59	東陽中	道徳	9月22日	木	
60	皆川中	英語	11月16日	水	
61	吹上中	数学	9月13日	火	
62	寺尾中	道徳	7月5日	火	人権教育実践研究校
63	寺尾中	保健体育	12月6日	火	人権教育実践研究校
64	大平中	学級活動	9月28日	水	

65	大平南中	教科等(4授業)	6月13日	月	共同訪問
66	藤岡中	数学	10月5日	水	
67	藤岡中	道徳	11月18日	金	
68	都賀中	理科	9月21日	水	学力向上推進研究校
69	都賀中	数学・理科	11月29日	火	学力向上推進研究公開授業
70	岩舟中	数学	10月28日	金	

・学校課題 【別表】学校課題・研究主題等一覧参照

(2) 教育研究発表会

市内の保育園、認定こども園、小・中・高等・特別支援学校等の教職員を対象に、学校や個人等で行ってきた教育実践研究の成果を発表して共有し、教職員の資質及び指導力の向上並びに市内の園児・児童・生徒の健全な育成を図ることを目的に行った。

- ・発表方法 録画による動画の限定配信（口頭発表）  
市教育研究所ホームページへの文書データの掲載（紙上発表）
- ・配信日時 1月27日（金）午前10時～ 2月24日（金）
- ・口頭発表 11件（小学校7件、中学校1件、高等学校2件、学力向上推進研究ブロック1件）
- ・紙上発表 4件（小学校3件、高等学校1件）

(3) 人権教育研修

各人権課題に対する人権教育主任としての見識を高め、教職員としての資質向上を図るために小中学校の人権教育主任等を対象に人権教育研修会を開催した。

また、寺尾ブロックの小中学校を人権教育実践研究校に指定し、人権感覚を磨き、自ら考え判断し、自ら行動する児童生徒の育成を目指した実践的な研究を実施した。

ア 第1回栃木市人権教育研修会

- ・実施日 8月9日（火）
- ・方法 オンライン
- ・内容 「同和問題の現状と課題」  
部落解放同盟栃木県連合会事務局長 戸田 眞 氏
- ・参加者 各小中学校から1名ずつ

イ 研究指定校(寺尾ブロック：寺尾中、寺尾小)での取組

(7) 研究授業・授業研究会の実施

- ・実施日 6月28日（火）寺尾小 国語
- 7月 4日（月）寺尾中 道徳（要請訪問）
- 10月26日（水）寺尾小 国語
- 11月 9日（水）寺尾小 国語
- 11月14日（月）寺尾小 道徳
- 12月 6日（火）寺尾中 保健体育（要請訪問）

(イ) 研究推進委員会と研究企画部会の開催

- ・小中学校が連携した研究を推進するための会議の実施  
研究推進委員会(校長、教頭、教務主任、研究担当者)

実施回数 2回 5月30日(月)、1月11日(水)

研究企画部会(教務主任、研究担当者)

実施回数 8回 4月18日(月)、4月28日(木)、6月15日(水)、  
8月1日(月)、8月18日(木)、12月16日(金)  
1月18日(水)、3月8日(水)

(4) 特別支援教育関係事業

特別支援教育に関わる人材を育成し、児童生徒一人一人の教育的ニーズに応じた指導法や校内支援体制の整備について学び、資質の向上を図るため、研修会等を開催した。

ア 特別支援教育コーディネーター連絡会議

- ・実施回数 1回
- ・対象 特別支援教育コーディネーター 参加者42名

イ 児童生徒支援研修会

- ・実施回数 1回
- ・対象 特別支援教育コーディネーター 児童生徒指導担当 参加者82名

ウ 通級指導教室担当者研修会

- ・実施回数 1回
- ・対象 通級指導教室担当者 参加者13名

エ 通級指導教室担当者事務連絡会議

- ・実施回数 1回
- ・対象 通級指導教室担当者 参加者13名

オ 学校支援員研修会

- ・実施回数 2回
- ・対象 全支援員 参加者64名

カ 特別支援学級担当者研修会

- ・実施回数 1回
- ・対象 特別支援学級担当者 参加者88名

キ 臨床心理士や学校教育支援専門員による全校巡回訪問支援等

(5) 幼・保・小連絡協議会

栃木市内の幼稚園、保育園、認定こども園及び小学校の連携を図ることにより、幼児・児童の教育効果を一層高めるために、研修会等を計画した。

ア 代表者会議(年2回)

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、第1回は書面にて通知、第2回はオンラインにて実施

イ 全体研修会

実施回数 1回  
参加者 保育園・認定こども園・小学校・特別支援学校教職員 計71名

ウ 幼保小教職員相互職場体験研修

保育園・認定こども園から小学校へ 16名  
小学校から保育園・認定こども園へ 19名

エ 地域別研修会

実施回数 2回

参加者 保育園・認定こども園・小学校・特別支援学校教職員

第1回（国府公民館） 計62名

第2回（キョクトウとちぎ蔵の街楽習館） 計65名

(6) 地域ぐるみ児童生徒指導

児童生徒の健全育成を図るため、学校と家庭、地域が連携し、各中学校区での情報交換や教育講演会の開催、小・中・高の異校種間による合同研修会等を実施した。

ア 13中学校区児童生徒指導連絡協議会

各中学校区で教育講演会や健全育成推進活動を展開

・実施期間 5月～12月

イ 栃木市児童生徒指導研究会

異校種間の情報交換や合同研究会を開催

・実施期間 4月～3月

ウ 児童生徒支援研修会

小学校児童指導主任、中学校生徒指導主事、特別支援コーディネーターによる合同研修会を開催

・実施日 8月25日（木）

エ 各部会

部会名	実施回数または実施日
中学校部会	毎月1回
中・高部会	11月1日（火）

(7) 適応指導教室運営に関する事務

適応指導員等が、不登校及び不登校傾向にある児童生徒に対して、学校復帰を含む社会的自立に向けた指導及び支援を行ったほか、保護者に対する教育相談を行った。

・適応指導教室通級人数 47人（学校復帰人数34人）

（単位：件）

来所相談	1,514
電話相談	1,296
学校訪問	33
家庭訪問	2
合計	2,845

(8) スクールソーシャルワーカー配置事業

社会福祉の専門的な知識技術を有するスクールソーシャルワーカーを2名配置し、学校内や家庭生活において問題を抱える児童生徒に対して、家庭、学校、地域の関係機関をつなぎ、問題の解決を図った。

ア 実施状況

・対応件数 193件（うち終結した件数75件、他機関へ引き継いだ件数55件、引き続き対応している件数63件）



(9) 防災教育推進事業

児童生徒が災害発生時に、自ら危険を予測し回避するために、災害に関する知識に基づいて的確に判断し、迅速に行動する力や、自他の生命を尊重し、最善を尽くし「主体的に行動する」態度を育成するための防災教育の充実を図った。

ア 栃木市防災教育基本プログラムの活用

- ・各校の各教科等の年間指導計画上に防災教育との関連を明記、栃木市防災教育基本プログラムを活用した防災教育の系統的・計画的な実施（実施校数：42校）

イ 実践的体験活動の充実

- ・緊急地震速報等を活用した実践的な避難訓練を実施（実施校数：42校）

(10) 小中一貫教育推進

「栃木市小中一貫教育ガイドライン」をもとに、平成29年度から市内全小中学校で実施している。

各中学校ブロックで設定した目指す子ども像の実現のために、重点目標を設定しブロックならではの義務教育9年間の一貫性のある教育を推進した。

ア 各ブロック令和4年度重点目標

No	ブロック名	令和4年度重点目標
1	栃木東ブロック	・学び合う活動を通じて自分の考えを深めたり広げたりできる子どもの育成 ・目標に向かって主体的に行動したり協働したりできる子どもの育成
2	栃木西ブロック	・主体的に学びに向かう子どもの育成 ・自ら進んで「あいさつ」のできる子どもの育成
3	栃木南ブロック	・自ら考え、共に学び、自信をもって表現できる子の育成 ・子どもの多様な考えを生かす授業の構築（展開） ・相手の立場に立って行動できる児童・生徒の育成
4	東陽ブロック	・多様な意見や情報をもとに主体的に考え、表現できる子どもの育成 ・多様な人との交流を通して自他の存在を尊重し、共に成長する子どもの育成
5	皆川ブロック	・授業の中で友達と共に学び、自分の考えを広げ深めていける子どもの育成 ・授業に必要な内容を考え、計画的に学習する習慣が身に付く子どもの育成
6	吹上ブロック	・道徳科を要とし、自分の思いや考えを伝え合い、学んだことを実践に生かせる児童・生徒の育成 ・違いや良さを認め合い、互いを支え合う児童・生徒の育成
7	寺尾ブロック	・多様性を認め合い、生き生きと自己表現する児童生徒の育成

8	大平ブロック	<ul style="list-style-type: none"> <li>・主体的に学習に取り組み、自分の考えを相手に伝えられる子どもの育成</li> <li>・互いに尊重し合い、豊かな人間関係が築ける子どもの育成</li> <li>・食に関する正しい知識と、望ましい食習慣を身に付けることができる子どもの育成</li> </ul>
9	大平南ブロック	<ul style="list-style-type: none"> <li>・主体的に考え、学びに向かう子どもの育成</li> <li>・生命や人権を尊重する意識を高め、自他共に大切にできる子どもの育成</li> <li>・目標をもち、困難や課題を乗り越えようとすることができる子どもの育成</li> </ul>
10	藤岡ブロック	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の目標をもち、集団との関わりの中で伝え合い、学びを深め合う児童生徒の育成</li> <li>・多様性を認め合い、異なる意見や考えを尊重し、協働できる児童生徒の育成</li> <li>・健康・安全な生活習慣を身に付け、運動に親しむ児童生徒の育成</li> </ul>
11	都賀ブロック	<ul style="list-style-type: none"> <li>・主体的・協働的に行動する子どもの育成～小中一貫教育で明るくあいさつできる子どもを育てる～</li> </ul>
12	西方ブロック	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の考えを進んで発表し、学び合う子どもの育成</li> <li>・基本的な生活習慣を身につけた子どもの育成</li> </ul>
13	岩舟ブロック	<ul style="list-style-type: none"> <li>・知識や技能を身に付け、それらを活用して粘り強く課題解決に取り組む児童・生徒の育成</li> <li>・自立心や思いやりの心をもち、他者とのかかわり合いの中で自己有用感を育み自己実現を図ろうとする児童・生徒の育成</li> </ul>

イ 各ブロック小中合同研修会

中学校ブロックの教員が合同で重点目標の達成に向けて研修会を実施した。

No	ブロック名	実施日
1	栃木東ブロック	① 6月 1日 (水) ② 8月 1日 (月) ③ 11月 9日 (水) ④ 2月 8日 (水)
2	栃木西ブロック	① 8月 4日 (木) ② 11月 10日 (木) ③ 11月 21日 (月)
3	栃木南ブロック	① 8月 2日 (火) ※紙面開催
4	東陽ブロック	① 6月 7日 (火) ② 8月 1日 (月)
5	皆川ブロック	① 5月 18日 (水) ② 7月 29日 (金) ③ 8月 2日 (火) ④ 9月 14日 (水) ⑤ 11月 16日 (水) ⑥ 2月 1日 (水)
6	吹上ブロック	① 8月 2日 (火)
7	寺尾ブロック	① 6月 15日 (水) ② 8月 1日 (月) ③ 1月 18日 (水)
8	大平ブロック	① 8月 2日 (火) ② 1月 19日 (木)

9	大平南ブロック	① 5月10日（火）② 8月 2日（火）③ 1月25日（水）
10	藤岡ブロック	① 8月 4日（木）
11	都賀ブロック	① 5月11日（水）② 8月 2日（火）③ 2月 8日（水）
12	西方ブロック	① 8月 4日（木）②11月16日（水）
13	岩舟ブロック	① 8月 4日（木）

【別表】学校課題・研究主題等一覧

学校名	学 校 課 題 ・ 研 究 主 題	教科等	備 考
栃木中央小	「自ら考え、学びを深める児童の育成」 ～思考力を高める指導法の工夫～	国語科・算 数科を中心 に各教科	
栃木第三小	考えを発信する活動を通して、自分の考 えと友達の考えを共有し高め合う児童の 育成 ～一人一台のタブレットを生かした効果 的な学習指導の充実～	教科・領域 を問わない	
栃木第四小	自らよく考え、共に学び、しっかり表現で きる児童の育成 ～算数の学力向上を目指して 3年次～	算数科	
栃木第五小	「情報活用能力(情報モラルを含む)」の 育成 ～ICT機器を効果的に活用する指導法の 工夫～	教科を特定 せずに行う	
南小	児童の表現力の育成 ～主体的・対話的で深い学びに向けた取 組をとおして～	国語科	
大宮南小	多様な意見や情報をもとに主体的に考 え、表現できる子どもの育成 ～説明的な文章を正確に読み取る力を育 み、表現力を高めるための指導法の工夫 ～	国語科	
大宮北小	多様な意見や情報をもとに主体的に考 え、表現できる子供の育成 ～国語科 考えの形成における「書く」活 動を重視した「読むこと」の授業づくり～	国語科	
皆川城東小	学ぶ力と心豊かな人間関係の育成を目的 とした小中一貫教育の推進 ～自他のよさを認め、共に学び高め合う 児童生徒の育成～	全教科	

吹上小	自分の考えをもち、学び合う子どもの育成 ～「書くこと」「伝えること」を通して～	全教科	
千塚小	自分の思いや考えを伝え合い、自分の考えをより深めることができる児童の育成 ～ICT機器を活用した学び合いの工夫を通して～	算数科	
寺尾小	自分の考えをもち、進んで表現できる児童の育成 ～互いのよさを認め合い学び合う活動を通して～	国語科	人権教育実践研究校 (市指定)
国府南小	多様な情報をもとに主体的に考え、表現できる子どもの育成 ～自分の考えを分かりやすく伝える力の向上を目指した授業づくり～	国語科	
国府北小	多様な意見や情報をもとに主体的に考え、表現できる子供の育成 ～読むことの言語活動の充実を通して～	国語科	
大平東小	主体的に学び、いきいきと表現する児童の育成 ～総合的な学習の時間の授業改善を通して～	総合的な学習の時間	
大平南小	ふるさとに誇りをもち、ともに夢に向かってたくましく生きる児童の育成 ～社会科的な見方・考え方を働かせて問いを追究し、進んで社会にかかわろうとする子どもを育てる社会科学習～	社会科	
大平西小	「自分に自信をもって 学びに向かう子どもの育成 ～ICTを活用した授業実践を通して～」	全教科・領域	
大平中央小	自ら考え、友達と共に学び合う児童の育成 ～算数の授業を通して～	教科を絞らずに行う	
藤岡小	楽しく分かる授業作りのための授業のUD化の研究 ～算数の授業を通して～	算数科	
部屋小	対話的な学びを通して、考えを深めさせるための指導方法の工夫	全教科、領域	

	～児童に学びの実感をもたせる～		
赤麻小	自ら考え、思いや考えを分かりやすく伝え合う力を高める指導の工夫 ～ICT（タブレット等）の活用を通して～	各教科	
三鴨小	つながりのある学びの展開 ～国語科の研究から目指す、語彙力と読解力の向上～	国語科	
合戦場小	学びに向かう力を高める学習指導の在り方 ～かかわりを通して自分の考えを深める児童の育成～	算数科	学力向上推進研究校 (市指定)
家中小	学びに向かう力を高める学習指導の在り方 ～「ひとりで」「友達と」「みんなで」学び、考えを深める児童の育成～	算数科	学力向上推進研究校 (市指定)
赤津小	学びに向かう力を高める学習指導の在り方 ～お互いの考えを伝え合い、深める活動を通して～	国語科	学力向上推進研究校 (市指定)
西方小	主体的に取り組み深く考える子の育成 ～系統的な指導に向けた共通理解と主体的に読み解く力を高めるための国語の授業づくり～	国語科	
真名子小	思考力・表現力を育成する主体的な学びのある授業の創造 ～少人数指導の授業の在り方の工夫を通して～	全教科	
岩舟小	思考力・表現力を育む授業の工夫・改善	国語科・算数科	
静和小	論理的に思考する楽しさが実感できる授業づくり ～プログラミング教育の実践を通して～	算数、総合的な学習の時間	
小野寺小	人権感覚をはぐくみ、互いに認め合い、いきいきと生活する児童の育成 ～ひとりひとりのゴールを目指して～	全教科	
栃木東中	学びの意味を知り、他者との関わりの中でよりよいものを探求し続ける生徒の育成 ～指導と評価の一体化を目指した授業力	理科 音楽科 道徳	

	の向上～		
栃木西中	主体的に学びに向かう生徒の育成 ～『とち介の学び』を基盤として～	全教科等	
栃木南中	生徒が意欲的に学習に取り組むための学習支援の充実	全教科	
東陽中	より良い人間関係を築くコミュニケーション能力の育成 ～「学業指導」の充実と「とち介の学び」の実践～	全教科 学校行事	
皆川中	学ぶ力と心豊かな人間関係の育成を目的とした小中一貫教育の推進 ～自他のよさを認め、共に学び高め合う児童生徒の育成～	道徳・読別活動・総合的な学習の時間	
吹上中	各教科等の指導における ICT の効果的な活用 ～一人一端末の積極的な活用と、活用事例の蓄積～	数学科・社会科	
寺尾中	多様性を認め合い、生き活きと自己表現する児童生徒の育成 ～よりよい社会づくりに参画できる実践力の育成を目指して～	全教科 道徳 総合的な学習の時間	人権教育実践研究校 (市指定)
大平中	豊かな表現力を身に付け 他者と協働できる生徒の育成	各教科、領域等	
大平南中	主体的に学び、互いに高め合う生徒の育成 ～生徒が主体的・対話的に学び合うための授業改善を目指して～	全教科	
藤岡中	自立した学習者を育てるための授業づくり	全教科及び特別活動	
都賀中	学びに向かう力を高める学習指導の在り方 ～協働的な学びを充実させる授業作り～	全教科	学力向上推進研究校 (市指定)
西方中	「個別最適な学び」・「協働的な学び」の実現を目指す授業づくり ～すべての生徒が確かな学力を身に付けるために～	全教科	

岩舟中	自分の考えをもち、互いの意見を大切に して、いきいきと学びに向かう生徒の育 成	全教科	
-----	---	-----	--

\*表記につきましては、各学校から報告された文言で示してあります。

グローバル教育推進室	グローバル教育推進係
------------	------------

## 1 グローバル教育に関する事業

### (1) グローバルデー

複数の外国語指導助手(ALT)が終日学校を訪問し、外国語の背景にある文化体験やALTとの直接コミュニケーション活動等の活動を実施した。

#### ア 実施校

- ・赤麻小学校 9月16日(金)  
新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止
- ・岩舟小学校 10月4日(火)
- ・大平東小学校 11月9日(水)
- ・皆川城東小学校 11月24日(木)

### (2) グローバルアワー

外国語指導助手(ALT)の英語による自国の文化紹介の講座をオンラインで開設し、参加生徒が視聴を希望する国の講座を選択して受講した。

#### ア 実施校

- ・栃木南中学校 10月11日(火)

### (3) グローバル教育講演会

地元を離れ、様々な経験を積んだ方や専門的な分野で活躍している方などの話を聞く講演会をオンラインで開催した。

ア 実施校 大平中学校、藤岡中学校

イ 実施日 2月17日(金)

ウ 講師 岩崎 元気 氏

### (4) 児童生徒会交流

ICT機器を活用して、距離の離れた学校の児童生徒同士が、互いの地域の紹介や学校での取組について意見交換を行った。

ア 実施校 栃木南中学校、滝川市立開西中学校(友好親善都市)

イ 実施日 11月8日(火)

### (5) 外国語指導助手(ALT)学校派遣

小中学校の英語教育を充実させるため、外国語指導助手(ALT)20名を各学校に派遣し、外国語を通じたコミュニケーション力の育成に重点を置いた授業を展開した。

小中学校ごとに訪問計画を立て、市内全小中学校へ、長期休業を除く月曜日から金曜日に訪問した。

延べ訪問日数 (単位:日)

中学校	1,188
小学校	2,772
合 計	3,960

(6) コミュニケーションチャレンジ（スピーキングテスト）

外国語指導助手（ALT）と直接英語で話す機会を提供し、英語で話す力を直接的に確認することで、達成感と今後の外国語学習への意欲を高めるため、市内全中学校でコミュニケーションを実施した。

ア 実施期間

10月31日（月）～12月23日（金）

(7) 学校間オンライン交流授業

ICT機器を活用してオンラインで離れた学級を繋ぎ、英語で自分の思いや考えを伝え合うコミュニケーション活動を行った。

ア 実施校 皆川中学校、寺尾中学校 12月9日（金）

大宮南小学校、国府南小学校 3月3日（金）

(8) 外国人児童生徒等への日本語指導

日本語指導が必要な外国人児童生徒等に対して、市内拠点校の日本語教室においての初期指導や、在籍校に指導者（日本語指導員、日本語指導サポーター）を派遣しての教科指導を実施した。

来日直後の外国人児童生徒等に対しては、在籍校に支援者（母語支援員）を派遣し、児童生徒の母語による支援を実施した。

ア 日本語指導児童生徒数

	初期指導	教科指導	計
拠点校	21	25	46
巡回	0	46	46
合計	21	71	92